

管理者向け研修 アンケートに記載された質問

区分	NO	質 問	回 答
訓練	1	義務化されている訓練は、防災のような行政への報告義務はないか。	BCPIに係る訓練については、現段階では、行政への報告は求めています。
	2	自然災害感染症対策の訓練や研修は、同じ内容ならば同時(同日)でも良いか。	研修や訓練は、単独での実施を求めているため、例えば感染症に係る研修や訓練、非常災害対策に係る訓練など類似する内容のものを併せて実施することは差し支えありません。
	3	CSCATTTT の中で、課題として C(情報伝達)A(評価)が弱く、複雑で大量の情報を整理整頓し、そこから優先順位をつけた問題解決を素早く行う能力を、日常業務に置き換えて鍛えていきたい。そのための良いトレーニング方法を教えてほしい。	<p>年2回の定められた避難訓練時に、本部運営訓練も行うのはいかがでしょうか。実際に組織図、クロノロ、コンタクトリスト等を作成し、本部となる場所に掲示してみるのも良いと思います。特にクロノロの記載はすべての情報管理の基本となります(クロノロに情報が集約されて残るようにしないと、それを整理・活用することもできません)。</p> <p>あるいは、クロノロ記載だけの訓練も、非常に価値があると思っています。病院では定期的にクロノロ記載の訓練も実施しています。</p> <p>また、県では福祉施設向けの感染症対応訓練ツールをHPにて公開しております。ぜひ活用してください。</p>

区分	NO	質 問	回 答
ワクチン	5	コロナのワクチンは、今後も続けたほうがよいか。	<p>(施設利用者のワクチン接種を念頭にお答えします。)</p> <p>新型コロナワクチンは、令和6年度から毎年秋冬、高齢者の重症化予防を目的として、インフルエンザワクチンと同様の「定期接種(B類)」として実施されます。</p> <p>このため、重症化しやすい施設利用者については、インフルエンザワクチンと同様に、嘱託医に相談しながら接種について検討いただくことが望ましいと考えます。</p> <p>※高齢者以外の方の新型コロナワクチン接種は任意です。</p>
対応	6	有料老人ホームなので自立の入居者様が多くおられます。職員が不足したときにボランティアとして業務を手伝ってもらえることが可能か、どの程度してもらえるかを考えているため、アドバイスいただきたい。	非常時に入居者に可能な範囲で業務を手伝ってもらうことは問題はないと考えますが、あらかじめ業務の範囲について契約を締結しておくなど、双方が合意していることを明確にしておくことが望ましいと考えます。
	7	コロナが5類に変更されたが、コロナの感染力や症状は他の感染症よりも強い気がする。よって事業所としての対応が変わってくるのが、今後はインフルエンザ等と同じ対応でよいか。	コロナだけを特別扱いする必要はありませんが、コロナに限らず、感染症はそれぞれ感染力や感染経路等の特性が異なるため、標準予防策に加えて感染症の特性に合わせた対応が必要になります。
	8	衛生管理について委託にて施設に業者が入っている場合も委託事業所に委員会を作ってもらったほうがいいのか。	委員会は、介護保険事業所が設置する必要があります。事業所の委員会への委託先の関与については、各事業所で必要性を検討し、判断をお願いする。